

いま、知りたい！

おとなが学ぶ、こどものための



こどもと性についてお話する機会はありますか。

性教育は単に性行為を教えるものではありません。性器の名前を正しく覚える、性的同意を
考える、妊娠から出産という生殖の過程を科学的に学ぶなど多岐にわたります。

また、「性」を考えることで、自分のところとの向き合い方、身体を清潔に保つ方法、食事や
運動、休息を通して生活環境を整えるなど、発達に応じた「生」を考えることにも繋がります。

こどもへの性教育が大切だとわかっていても、「知識が不足し、伝え方がわからない。」そん
な声が保護者やこどもの支援に関わる人たちから聞こえてきます。

今回の講座では助産婦の東さよみさんをお招きし、こどもへの性の伝え方をお聞きします。

第1回

未就学児～
小学校低学年編

日時 **7月2日(土) 午前10時～12時**

場所：IT創造館2階大会議室 (なは市民協働プラザ隣)

対象者：親子(4歳児～9歳未満)、保護者、子育て支援に関わる方

第2回

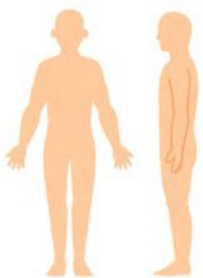
小学校高学年
～思春期編

日時 **7月16日(土) 午後2時～4時30分**

場所：なは市民活動支援センター会議室(なは市民協働プラザ2階)

対象者：親子(小学4年生～高校3年生)、保護者、子育て支援に関わる方

*一時保育は当面の間、休止いたします。手話通訳をご希望の方は各講座とも、
開催日1週間までにお申し出ください。



あずま

講師：東 さよみさん (助産婦・シェルター「おにわ」寮母)

●プロフィール

東さよみさんは、沖縄に移住して10年近く、性の健康教育学習会などを企画し、幼稚園や学童
などで性教育を行っています。沖縄県の委託事業など、児童養護施設職員のためのスーパーヴァイ
ズ研修で講師を務めた経験もあります。助産師資格を持ち、性暴力被害者支援なども行ってきまし
た。現在は、若年妊婦の産前産後をサポートするシェルター「おにわ」で寮母をしています。



なは女性センターを利用される皆さまへご協力をお願い



「なは女性センターにおける新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に沿って、ご利用いただきます。

体調のすぐれない方は、ご利用をお控えください。マスク着用、検温、手指消毒のご協力をお願いします。

今後の状況により、変更する場合があります。最新の情報は市ホームページでご確認ください。

女性センターを起点としたジェンダー研究に向けて

なりさだようこ

成定洋子さん(沖縄大学経法商学部教授)

第16期・那覇市男女共同参画会議の委員7人の皆さまをご紹介しますインタビュー企画。
第3回は、成定洋子さん(沖縄大学経法商学部経法商学科教授)にご寄稿いただきました。

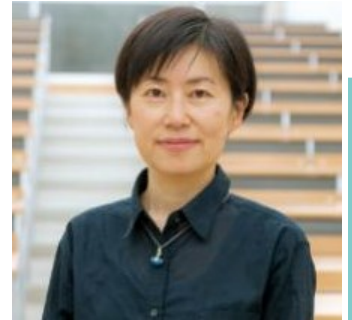
★-ご自身の研究内容を教えてください。

戦後の沖縄をめぐる社会や文化変容、労働とジェンダーに関する研究などに取り組んでいます。戦後沖縄における労働・雇用のあり方やその政治的・文化的・社会的な意味は、米国占領を経て、在沖米軍基地の変容とともに大きく変化してきました。特に、沖縄県の女性の労働・働き方は、全国平均と比べて、女性の労働力率におけるM字曲線の谷の部分が浅く、県全体の平均賃金の低さゆえに、男女の賃金格差は比較的小さいものの、勤続年数は短いなど、本土と異なる複雑な特徴や背景を持っています。

そのため、①戦後沖縄において、女性たちはどのような働き方や労働を経験してきたのか、②女性たちの労働は、どのような政治的・社会的・文化的な意味や役割を持ってきたのか、③働く女性たちやその働き方は、誰によって、どのようにまなざされてきたのか、一などについて、現代の沖縄における労働・雇用の現状や課題、可能性と接合させながら考えていくことができればと思っています。

【プロフィール】

沖縄大学経法商学部経法商学科地域社会コース教授、及び沖縄大学大学院現代沖縄研究科沖縄・東アジア地域研究専攻教員。専門は社会人類学・文化研究、ジェンダー・セクシュアリティ論。戦後沖縄をめぐる社会・文化変容や労働とジェンダーに関する研究、労働教育研究などに取り組む。エジンバラ大学大学院政治経済科学研究科社会人類学専攻博士課程修了(社会人類学PhD)。



★-ジェンダーに関する研究を始められたきっかけは？

20年前、沖縄県女性総合センター(現・男女共同参画センター)「ているる」で嘱託職員として勤務していたときの学びや経験、人的ネットワークが、現在に至る自分のジェンダー研究における重要な核や指針となってきました。

「ているる」の日常業務や県内外の女性センターのネットワークを通して、①ジェンダー問題における普遍性と個別の問題を共に見えていく必要性、②ジェンダー問題が女性の労働・雇用のあり方に深く根差していること、③ジェンダーなどに関わる法制度の問題や限界・矛盾をどのように考えていくのか、一ということなどについて、いろいろな形や文脈で学んだり、先輩方や同僚らと共に考えたりできたことは、自分のジェンダー研究にとって、また自分自身が生きていく上で、かけがえのない過程であったと大変有難く思っています。



▲H31年度講座
「数字から見える・見えない『男女平等』」で
講話いただきました。



▲第16期委員の初顔合わせ

▲男女共同参画会議の様子

★-那覇市男女共同参画会議について、どのように感じていますか。

男女共同参画会議は、委員それぞれの専門や立場からいろいろな意見や疑問を提起することで、ジェンダーやセクシュアリティについての見えにくい問題や新たな課題が認識・共有される貴重な場であると思います。

5月に開かれた2022年度第1回会議では、現行の「那覇市パートナーシップ登録」制度を、「那覇市パートナーシップ・ファミリーシップ登録」制度に変更する案について審議されました。パートナー同士の関係性に限定されていたパートナーシップ登録制度を、パートナーシップ関係にある二人と同居する子どもや親などの近親者を「家族」として新たに登録するためです。

各委員からは、①事実婚もパートナーシップ登録制度の対象に含めることは可能か、②パートナーシップ登録を解消する際、登録者双方の合意を必要としない方がいい、③パートナーシップ登録を解消する際、登録者の登録番号を市のHPで公表しないようにしてほしい、④セクシュアル・マイノリティがSNSなどの被害対象とならないよう配慮する必要がある、一などの意見や声が挙げられました。国や自治体が「パートナーシップ」や「家族」を位置づけることの意味や影響、課題などが改めて浮き彫りにされたように思いました。

令和4年度

「那覇市男女共同参画研修参加費補助金」 研修費用の一部を助成します！

あらゆる分野の男女共同参画の推進に不可欠な人材の育成に資する国内外の男女共同参画研修への参加促進を目的に、研修参加者に対し研修参加費用の一部を助成します。

対象研修：①沖縄県女性セミナー（海外・国内）「女性の翼」事業

②市が必要と認める男女共同参画研修事業

* 県内開催の研修は補助対象外。* 他団体からの補助金との併用は不可。

補助対象者：那覇市に住民登録のある人（市税完納者）で、研修参加後に市の男女共同参画事業へ積極的に参加・協力できる人。

補助金額：経費の2分の1以内（上限5万円）

補助回数：原則として同一人に対し年度内1回

補助対象経費：「補助対象研修」への参加費用

* ただし、面接及び事前研修等に要する費用、渡航手続き、旅行保険、懇親会費等、その他個人の負担に属する費用は含まれません。

締切：2023（令和5）年1月31日（火）まで

* ただし、助成額が予算に達し次第、終了します。



詳しくは、市ホームページ、または、なは女性センターまでお問い合わせください。

2022年度沖縄県女性海外・国内セミナー

「女性の翼」参加者募集

主催：一般社団法人沖縄県女性の翼の会

この事業は、公的機関、女性の社会活動、教育、労働、福祉、環境、人権等の視察研修、制度の調査等を通して、沖縄県及び地域社会で貢献できる女性リーダーの育成及び資質の向上を目的としています。



◆研修国：台湾

（参加費：1人あたり150,000円程度）

◆研修期間

2022年11月中旬予定（3泊4日）

◆募集期間

2022年5月6日（金）～6月30日（木）

* 詳しくは、「沖縄県女性の翼 事務局」へお問い合わせください。

TEL：098-917-4677

FAX：098-917-4688

E-mail: tsubasa.okinawa@theia.ocn.ne.jp

◆25周年記念座談会の報告書が完成、ダウンロードできます！

なは女性センター25周年記念座談会「女性センターの果たしてきた役割そして、これからを考える」の報告書がこのほど、完成しました。2021年10月1日に開かれた本座談会では、センター設立の経緯や、女性たちのネットワーク形成と活動の歩み、基地と性暴力のつながりなどを、3人のパネリスト（高里鈴代さん・宮城晴美さん・山城紀子さん）に分かりやすく解説していただきました。沖縄のジェンダー問題を考える上で、必読の内容となっています。

報告書は当センターに設置しているほか、ホームページからもダウンロードできます。



Book

★女性問題やジェンダーに関する図書の貸し出し及び資料の閲覧ができます。

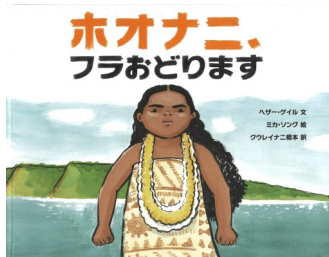
★貸出し期間：2週間 お一人2冊まで

『ホオナニ、フラおどります』

ヘザー・ゲイル文/ミカ・ソング絵/クウレイナニ橋本訳/ さ・え・ら書房/2021年1月発行/40ページ

ハワイでは、むかしから、すべての人に役割がありました。女と男、その両方のとくちょうをもっている「マフー」とよばれる人たちがいます。マフーは、いやしの力をもっていて、家族をまもり、伝統文化をつたえる人として尊敬されていました。男も女も、マフーも関係ない、すべての人が、そのままうけいれられて、みとめられて、自分のいる場所がある—このような精神が息づいているハワイをぶたいに、この物語ははじまります。

（本文より抜粋）



令和4年度 男女共同参画週間

期間：令和4年6月23日（木）～6月29日（水）

★なは女性センターでは、この期間に合わせて「男女共同参画社会基本法」を分かりやすくイラストで解説したパネル展示と、「戦後50年おきなわ女性のあゆみ～21世紀へのメッセージ～」の上映を行います。



▲令和4年（2022）年度ポスター

期間：6月11日（土）～7月2日（土）

* 6月19日（日）23日（水）・26日（日）は休館日

上映時間：①12:20～12:50 ②18:00～18:30

* 土曜は①のみ。上記以外の上映については、お問い合わせください。

相談室「ダイヤルうない」

周囲に話せる人がいない、自分の気持ちをわかってもらえない。そんな時、「ダイヤルうない」を利用してみませんか。生きがい、家庭の問題など、女性の抱える様々な相談に応じ、自分の意思で人生を選択するために情報提供し、サポートします。

- 電話相談
- 面接相談(女性のみ・要予約)
- 法律相談(女性のみ・予約制)

 **098-861-7515**

月～土 午前9時～12時／午後1時～5時

「ストップ・DV」情報提供

相談室「ダイヤルうない」では、ドメスティック・バイオレンス(DV)で悩む方を支援するための情報提供を行っています。詳しくは相談室「ダイヤルうない」へお問い合わせください。

性の多様性に関する相談

あなたが「自分らしい生き方」を自らの意思で選択できるように、一緒に考えます。どなたでもご相談ください。



- ゆいレール 「古島駅」から徒歩10分
「おもろまち駅」から徒歩20分
- 路線バス ★なは市民協働プラザ前バス停 10 牧志新都心線
★銘苅一丁目バス停 8 首里城下町線 徒歩3分
[国道330号側] ★興南高校前バス停 ★真嘉比バス停 徒歩7分
[県道82号側] ★古島バス停 徒歩7分

那覇市パートナーシップ登録

「那覇市パートナーシップ登録」は、市長が両者をパートナーシップ関係にあると認めた場合、その関係について登録簿へ登録し、証明書を交付するものです。

■「性の多様性を尊重する都市・なは」宣言(レインボーなは宣言)の理念に基づく取り組みです。登録によって何らかの法律上の効果(婚姻、相続、税金の控除など)が生じるものではありません。

登録数 **44** 組
2022年6月15日現在

■お問い合わせ・申請の予約■

TEL. **098-951-3203** ◆月～金:午前9時～午後5時
* 祝日、慰霊の日(6/23)、年末年始を除く

レインボー交流会の開催について

「交流の場がほしい」「性の多様性について語りたい」といった声から生まれた誰でも参加できる交流会です。

日時: 2022年7月2日(土)14時～16時
場所: なは市民活動支援センター会議室
(なは市民協働プラザ2F)

テーマ: 「江戸時代のセクシュアルマイノリティ」勉強会

主催: 市民団体がーだあみ  tiidaami.okinawa@gmail.com

※「レインボー交流会okinawa」で検索すると、フェイスブックで最新情報を確認できます。

→ <https://www.facebook.com/rainbow.okinawa/>

with you おきなわ

沖縄県性暴力被害者ワンストップ支援センター

はやくワンストップ 24時間
TEL **#8891** 365日



※繋がらない場合は、098-975-0166へ

性暴力の被害にあわれた方の意思を尊重しながら、医療的支援を含めた必要な支援を行っています。24時間365日体制で相談を受け付けていますので、いつでも相談できます。

◆なは女性センター講座について

*受講希望の講座は、なは女性センター窓口、電話、FAX、Eメールでお申し込みください。また手話通訳、一時保育(現在休止中)の利用は、那覇市在住・在勤・在学の方が対象です。(事前予約が必要)

お問い合わせ
那覇市銘苅2-3-1(なは市民協働プラザ1F Aコア)
TEL. 098-951-3203 FAX. 098-951-3204
Email: s-heidan002@city.naha.lg.jp

開館時間 休館日
月～金: 午前9時～午後9時 年末年始(12/29～1/3)
土曜日: 午前9時～午後5時 日曜日・祝日・慰霊の日(6/23)

駐車場のご利用について

「なは市民協働プラザ」の地下駐車場と消防局隣の「ナハメカルパーキング」は**有料**です。センター利用者は、料金の一部が免除されますので「駐車券」を事務室にお持ちください。

☆なは女性センター利用者の一部免除料金

最初の2時間まで	100円
最初の2時間を超え1時間までごとに	100円
※利用時間に1時間に満たない端数は1時間として計算。	



なは女性センター
メール



なは女性センター
ホームページ



Facebook